

1 日時及び会場

平成30年11月29日（木） 午後2時00分から午後4時15分
春日部市立医療センター 3階多目的ホール

2 出席者

- ・協議会委員（別紙名簿のとおり）
委員総数28人 出席27人（代理2名含む） 欠席 1人
- ・オブザーバー
管内市・町職員
- ・事務局
保健医療政策課、医療整備課、春日部保健所、草加保健所、越谷市、越谷市保健所職員
- ・説明者
病院整備計画応募医療機関12機関
- ・傍聴者
26人

3 議事

（1）病院整備計画について

資料1、参考資料に基づき、保健医療政策課から説明後、資料2に基づき、病院整備計画応募医療機関からの説明と意見交換を行った。

①（仮称）越谷さくら病院

【主な意見等】

- ・南部保健医療圏と2カ所応募しているが、医療スタッフを確保できるのか。
→ ずらして開設予定。準備期間はあると考えている。
- ・南部保健医療圏で6次計画時に応募した増床が完了していない。また、身体合併症患者を受け入れるということだったが実績がない。
- ・病院団体協議会としては、診療報酬改定及び医療介護従事者の需給等、医療機関の経営・運営は厳しさを増すことが想定される。病院という社会資源の過不足のない整備のためにも、拙速に判断することなく慎重に議論の上決定いただきたい。
- ・長年の信頼関係に基づき、地域の実情を熟知し、実績のある既存病院を優先いただきたい。
- ・医療人材の需給への影響が及ぼされるのではないか。
- ・獨協医科大学埼玉医療センターとしては、回復期リハビリテーション病床を持つ病院ができることは歓迎したい。

② 三愛会総合病院

【主な意見等】

- ・三郷市内の北部地域で急性期の病院を大きくすることは賛成。
- ・獨協医科大学埼玉医療センターが2年以内に、現在改修工事中の200床が稼働すると、急

性期の部分がバッティングしてくる可能性がある。

- ・病院完結型を目指しているように見える。
 - 様々な選択肢があってよいと考えている。患者さんからすれば手術した病院でリハビリを受けられればメリットがあると考える。
- ・三郷市では、3つのエリアにそれぞれ基幹病院があり、三愛会総合病院はそのひとつ。救急の受入は頑張っているが、医師の問題や設備の問題もあり、他の基幹病院に負担をかけることになっている。移転して、大きくし、充実してもらう必要がある。

③ 慶和病院

【主な意見等】

- ・移転先が、リハビリテーション天草病院とバッティングしないか。
 - 院内の患者を対象に考えているので、バッティングはしないと考える。
- ・周辺地域において、理学療法士等のリハビリ従事者の需給に不安がある。
- ・診療報酬改定等の影響もあり、回復期リハビリテーション病棟の稼働状況は万全ではなく、医療機関によっては患者確保が困難になってきている。
- ・回復期リハビリテーションの状況は、患者の取り合い状態にあり、稼働率はこの1年でかなり下がってきている。越谷さくら病院も190床、慶和病院でも80床というのはどうなのか。
- ・獨協医科大学埼玉医療センターでは、現在のところ、周辺のリハを行っている病院に受け入れてもらっているが、今後、200床増えた場合、困難になるのではと危惧している。

④ 越谷誠和病院

【主な意見等】

- ・越谷の救急は、誠和病院がないと成り立たないくらいお世話になっている。

⑤ 武里病院

【主な意見等】

- ・認知症を中心に受入いただけるサブアキュート、ポストアキュートの病棟は非常に必要、意義があると思う。
- ・在宅の認知症患者さんもよく見ていただいている。

⑥ (仮称) しらさきレイクタウン病院

【主な意見等】

- ・川越比企、利根の保健医療圏でも応募している。貢献したい地区はどこなのか。
 - 優先順位はない。開業時期をずらし、全て力を入れて行いたい。
- ・循環器急性期医療を何カ所もできるのか。
 - 既に医師の入職も1人決まっており、徐々に増えていっている。
- ・急性期の入院料は、地域一般入院料でなく、急性期一般入院料をとるのではないか。
- ・獨協医科大学埼玉医療センターがフル稼働した場合、循環器の救急が本当に必要なのか。

⑦ (仮称) 埼玉越谷病院

【主な意見等】

- ・病院が看取りの場所になってしまうのは病院機能としてふさわしくない。
- ・越谷市と協力して、地域包括ケアシステムの中で患者さんを地域に戻す努力をしていただきたい。

⑧ みさと健和病院

【主な意見等】

- ・三郷市の南部を担っている。頑張ってもらわないと困る。救急患者の収容率も高い。メディカルケアステーションの利用率もとても高く、病診連携もうまくいっているのだから頑張ってもらいたい。

⑨ しらみず産婦人科クリニック

【主な意見等】

- ・春日部市内のお産は、2機関に集中している。クリニックの場所が、春日部市の南部に隣接しており、お産の需要に供給できるのではないかと。春日部市の隣接地域で産科を再稼働していただけるのはありがたい。

⑩ 鳳永病院

【主な意見等】

- ・草加市立病院としては、受入病院が増えることは必要と考える。
- ・医師会としても地域の患者さんを幅広く受け入れてもらえるのであれば必要と考える。
- ・回復期リハビリテーション病床の一部で地域包括的な利用を考えているということに違和感を感じる。地域ケア病床ではないのか。
 - 高度急性期の疾患ではなく、レスパイトや肺炎など一時的に入院が必要な患者さんの受け皿として利用したい。病棟が1病棟のため、その中でうまく行いたい。

⑪ 永井マザーズホスピタル

【主な意見等】

- ・吉川・松伏には産婦人科がなく困っているので、助かっている。ぜひ、頑張っていてもらいたい。
- ・絶対必要だと思う。

⑫ リハビリテーション天草病院

【主な意見等】

- ・これからも変わらぬ尽力に期待したい。

【全体意見交換】

- ・人員確保の面をみると東部地域で看護師が300人ほど必要になる。獨協がフルオープンすると、急にこの地域で300人、400人の数の看護師が確保できるのか、皆さんの中で確保方法等よく話し合っていたきたい。また、個人開業医から看護師を引き抜かないようお願いしたい。
- ・緩和医療を行っている病院は、東部医療圏は極端に不足している。これから新しい病床等開設を考えられる場合はこの部分を狙っていただくと非常に助かると思う。
- ・急性期病院であっても、術後の回復を早めるためにリハに力を入れている。将来的には、急性期病院のリハからリハの専門病院へ紹介することがどんどん増えてくると考える。